【緑区】令和4年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和4年2月4日 午後2時57分 ~ 午後4時12分
場所	緑区役所4階 会議室4AB (議員はリモートで出席)
	【座 長】鴨志田啓介 議員
	【議員:3名】今野典人 議員、高橋正治 議員、斉藤達也 議員
	【緑区:18名】岡田展生 区長、河村義秀 副区長
出席者	室谷洋一 福祉保健センター長
	萩原健司 福祉保健センター担当部長
	新田巧 緑土木事務所長、齋藤優子 担当部長(緑図書館長)
	ほか関係職員
	1 令和4年度 個性ある区づくり推進費 予算案
議題	2 その他
	緑区における新型コロナウイルス感染症対応状況
	議題1 令和4年度 個性ある区づくり推進費 予算案
	(区長、副区長説明)
	【1 災害に強いまちづくり事業】
	今野議員:災害時の高齢者、障害者の一次的な安否確認のあり方について、
	どう考えているのか。
	岩崎高齢・障害支援課長:高齢者や障害者には自主的な避難が難しい方も
	いらっしゃいますので、地域の実情に応じて、御家族の方や地域の大いただくこのため、
	の方とよく話し合いながら御自身の避難方法を考えていただくこ
% = ♠	ととなります。区としては、災害時の支援者名簿などを配布し、より、日本な際難ができるよう支援なりていく考えです。
発言の要旨	り迅速な避難ができるよう支援をしていく考えです。 今野議員:支援者名簿は、区役所や民生委員が持っているという理解でよ
女 目	「つ野磯貝・文仮有名得は、区位別で氏生安貝が持つ(いるという理解)」 「 いか。

	に基づき民生委員の方々にも配付しています。その他、「ささえあ
	いカード」という形で、自治会で自主的に名簿を持っている場合
	もあります。
	 今野議員:ささえあいカードは、自身が登録しなければ名簿から漏れてし
	まうが、その方も区役所や民生委員とはつながっているという認
	識でよいか。
	 岩崎高齢・障害支援課長:民生委員の方々や連合自治会に御説明をし、少
	しずつでも名簿の共有が図れるよう努めています。

今野議員:名簿の管理について、実際に対応する班長レベルの方々の認識 を高めるような啓発活動もしていただきたい。

【5 暮らしの衛生推進事業】

斉藤議員:災害時のペット対策として、地域防災拠点にスターターキット を配備する予算を計上したのはどのような考えによるものか。

古家生活衛生課長:スターターキットとは、避難所のペット受入れに必要 な資材や説明書などをまとめたもので、発災直後に拠点に避難し てきた飼い主の方が、速やかにペットの受入れを自主的に始めら れるようにするため、計上しました。

斉藤議員:何か所位の拠点が希望すると想定しているのか。

古家生活衛生課長:22 拠点のうち、15 拠点位を想定しています。

【10 DV対策・児童虐待防止事業】

今野議員:DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談は、これまでも実施してきたのか。

五十川こども家庭支援課長:区の自主企画事業として、これまでも月1回、 弁護士による法律相談を実施してきました。また、こども青少年 局の予算で女性福祉相談員による相談対応も実施しています。な お、神奈川県ではLINEでもDV相談を受けられるようになってい ます。

【14 地域特性データ集作成事業】

今野議員:面白い取組になるのではないかと大変期待している。

【17 魅力ある公園づくり事業】

斉藤議員:公園愛護会のPR資料やカレンダーの作成を通して、どういう 効果を期待しているのか。

川口緑土木事務所副所長:愛護会の活動を広く周知し、公園の利用者に活動を知っていただき、参加いただくといったボトムアップにつなげるとともに、愛護会の皆様のモチベーションアップにつなげたいと考えています。

斉藤議員:紙媒体に加え、SNSでの活動事例紹介なども積極的にやって いただいた方が良いと思う。

【19 みどり地域まちづくり推進事業】

斉藤議員:山下地域交流センター活用事業ではどのようなことを行うのか。 山下区政推進課長:今後、耐震補強をした後にどのような地域の活用が想 定されるのか、地域の皆様と一緒に検討することを考えています。

斉藤議員:コロナ禍で一緒に検討する場を設けるのは大変かもしれないが、 こういう拠点は非常に大事なので、ウィズコロナの中でどういう ことができるかというアイデアを積極的に出していただくととも に、この地域交流センターの歴史の伝承も併せてしていただきた

【21 ふるさとみどり魅力発信事業】

1

斉藤議員:プロモーション戦略を策定して、どういう効果を求めているのか。

山下区政推進課長:緑区への転入者や緑区在住者が、何を緑区の魅力と感じているのかなどをアンケート調査し、それを踏まえて、何を、誰に、どのように発信していくのが効果的な広報につながるのか、魅力の発信につながるのか、ということを検討していきたいと考えています。

斉藤議員:横浜市や他の市町村も人口が減っていく中で、緑区の人口はど の位が適当なのか、よく議論いただき、住み方や仕事の仕方も含 めてバランスをどう取っていくのかを分析したうえで、緑区の魅 力をどのようにアピールしていくのかを考えていただきたい。

斉藤議員:緑区遺産については、関係者とよく打合せをしながら紹介冊子 を作っていただき、活用していただきたい。

【30 市民活動パワーアップ支援事業】

斉藤議員:緑区地域課題チャレンジ提案事業について、これまで採択された提案の実績をアーカイブの形で広く発表していただくよう要望する。

【その他】

斉藤議員:ウィズコロナにおいて、屋内・屋外のイベントではここに気を付けていただき、まん延防止等の措置がなくなった際にはどうやったら活動できるか、といったガイドラインのようなものを区や市が出した方が良いと思うがいかがか。

岡田区長:地域の方々からも一体どうやってやったらいいのか、もう2年 もイベントが止まってしまって地域のノウハウもなくなってしま っている、という御意見もいただいています。どういう形で少しずつ社会活動を復活させていくのか、市ともよく協議しまして、 区役所としても地域の方々に発信していきたいと考えています。

- 斉藤議員:運営側が何に基づいて実施しているのか説明できるように、ある程度ガイドラインや基準を定めていただきたいということを強く要望する。
- 鴨志田座長:2027年開催の花博(国際園芸博覧会)について、会場は緑区の隣の瀬谷区であり、地元の経済活性化という意味でも波及効果があると思う。例えば緑区の各駅からバスが出る場合、混雑や道の渋滞などメリット・デメリットもあり、今から対策を考えておかなければいけないと思うが、緑区として花博についてどう考えているのか。
- 岡田区長: 花博につきましては、隣の区でもございますし、交通について も緑区を経由して会場に入る方々もたくさんいらっしゃると思い ます。区として何ができるのか、よく相談して、盛り上げていきた いと考えています。

議題2 その他

緑区における新型コロナウイルス感染症対応状況

(総務課長説明)

- 斉藤議員: 感染は身近に迫っている。感染者に対し、お大事になさってくださいと温かい目で見守っていくような社会づくり、雰囲気づくりが大事だと思うので、是非区役所からもそういう発信をしていただきたい。
- 斉藤議員: ワクチン相談コーナーについて、相談者お一人の対応におよそ 何分位かかっているのか。また、待ち時間はどの位あるのか。
- 齋藤総務課長:現在、手続き的にはお一人当たりおよそ2~3分と聞いています。お待ちいただく場合のお席を設けていますが、今のところお席で順番を待つ方がいる状況ではないとのことです。なお、相談にいらした方には整理券をお配りし、今何番の方を対応しているかを表示しています。
- 斉藤議員:もし相談コーナーの人員が足りないようであれば、言っていた だければ応援する。
- 今野議員:ワクチン3回目接種について、市内郵便局で予約代行をすると のことだが、特定郵便局でも行うのか。

齋藤総務課長:神奈川郵便局、椿ヶ丘簡易郵便局、横浜市大附属病院内簡 易郵便局、横浜卸本町簡易郵便局を除く市内 302 箇所の郵便局で 予約代行を行います。

今野議員:ワクチン相談コーナーの対応時間が2~3分ということだが、 郵便局でも同様に対応可能ということか。

齋藤総務課長:相談コーナーの相談員はある程度慣れているのに対して、 郵便局員の方は若干時間がかかるかもしれませんが、対応は可能 と考えています。

鴨志田座長:3回目接種においては緑区内に集団接種会場がないわけだが、 1・2回目の接種時よりも個別接種を行うクリニックが増えてい て、かかりつけの方に限らず、誰でもどこでも受けられるという 状況になっているのか。

齋藤総務課長:健康福祉局に確認したところ、基本的にはかかりつけの方 以外でも受け付けるとのことでしたが、個人のクリニックなど一 日に打てる本数が少ない所では、申込時に予約が埋まっている場 合もあるかもしれません。

今野議員:緑区で個別接種を実施する医療機関のデータをいただきたい。

齋藤総務課長:後ほど、皆様に資料をお渡しします。

鴨志田座長:県議会議員も含めて、全員にお渡しいただきたい。

齋藤総務課長:この件につきましては、通常は議員団会議でお諮りしているものでございますので、資料も含めて県議会議員の2先生にも お渡しさせていただき、本日の内容も御報告いたします。

備考